

# 鶴ヶ島市高倉の森生き物調査

キノコ編 2016 冬～2017 秋



NPO 法人  
つるがしま里山サポートクラブ

## はじめに

NPO 法人つるがしま里山サポートクラブは、「みどりと川の再生」や里山の大切さを理解していくため、市民の森のキノコの図鑑を作成しました。この冊子が市民の森や、小川の清掃活動を通じ、自然の奥深さや多様性に気づくきっかけになることを願っています。

### 鶴ヶ島市民の森高倉のキノコ調査

①趣旨：キノコ調査は、高倉市民の森(里山)におけるキノコの調査を行い、生態系の自然生態の循環システムを含め確認する

②時期：年間を通じて調査し、観察される時期について確認する。

この調査は埼玉県 NPO 活動促進助成事業の助成により実現したものです。調査に参加された会員、市民の皆様、関係各位に感謝いたします。

2018年1月

NPO 法人つるがしま里山サポートクラブ

## 目次

1、	はじめに	
2、	キノコ編	1
	2016年冬	1
	2017年春	5
	2017年夏	6
	2017年秋	11
	2017年その他	15
3、	索引	19
4、	生態系における菌類やキノコの役割に関する基礎知識	21
5、	つるがしま里山サポートの活動について	22
6、	NPO つるがしま里山サポートクラブの子供たちとの活動	23
7、	NPO 法人つるがしま里山サポートクラブの活動内容	24

No.	写真	写真/情報	特徴など
1	 <p data-bbox="217 432 378 456">コミノカワタケ？</p>	<p data-bbox="455 264 773 352">頭上3メートルくらいの太い枝に張り付いていました。写真を拡大してみると枝はサクラのようです。</p>	<p data-bbox="796 244 1037 371">背着生で大小のこうやく状に広がり、革質。肉色～赤紫色。乾くと淡肉色。周辺部は白～淡肉色で、乾くとそり反り、その背面は褐色～黒色。広葉樹枯れ木上。</p> <p data-bbox="791 424 1033 445">見つけやすさ ★★★☆☆</p>
2	 <p data-bbox="174 679 413 703">ヒイロタケ(撮影地：川越)</p>	<p data-bbox="455 496 773 616">林の中でとても目立つ赤系のキノコです。倒木によく見られます。裏はひだではなく、細かな穴（管孔）がほぼ全面に広がっています。</p>	<p data-bbox="796 488 1037 632">枯れ木上。傘は半円形。鮮やかな朱紅色、風雨にさらされると色あせる。傘表面は毛がなく滑らかで同心円の模様（環紋）は不明瞭。肉はコルク質～革質。管孔は極微細である。</p> <p data-bbox="791 671 1033 692">見つけやすさ ★★★★★</p>
3	 <p data-bbox="222 930 348 954">ホウロクタケ</p>	 <p data-bbox="538 930 701 954">ホウロクタケ裏面</p>	<p data-bbox="796 740 1037 868">1～多年生。傘は扁平～浅いひづめ形、淡褐色～汚褐色。肉はコルク質。管孔はヒイロタケよりかなり大きい。ナラやシイ等の材に生える。</p> <p data-bbox="791 919 1033 940">見つけやすさ ★★★★★</p>
4	 <p data-bbox="234 1179 337 1203">カワラタケ</p>	<p data-bbox="455 1007 773 1094">公園の切り株でも見られるごくありふれたキノコ。若いときは特に美しいです。</p>	<p data-bbox="796 975 1037 1126">材に生える最も普通のキノコ。傘は半円形、強じんな革質。多数重なり合って群生し、表面は多彩な色をあらわすが、しばしばほぼ黒色。肉は白、管孔は微小。広く世界的に分布する。</p> <p data-bbox="791 1166 1033 1187">見つけやすさ ★★★★★</p>
5	 <p data-bbox="172 1426 396 1450">アラゲカワラタケ 拡大</p>	 <p data-bbox="508 1426 732 1450">アラゲカワラタケ 拡大</p>	<p data-bbox="796 1222 1037 1374">傘は半円形、厚さ2～8mm、多数重生する。表面は灰白色～淡きつね色、粗毛でおおわれ、環紋をあらわす。肉は白、管孔面（裏側）は初め白色、のち灰色を帯びることが多い。分布は世界的。</p> <p data-bbox="791 1418 1033 1439">見つけやすさ ★★★★★</p>

No.	写真	写真/情報	特徴など
6			傘は半円形、多数が重生する。表面は環紋をあらわし茶褐色～淡きつね色などで、無毛。下面は放射状のひだ状。広葉樹枯れに生える。
	チャカイガラタケ	チャカイガラタケ	見つけやすさ ★★★★★
7			背半着生。傘は半円形、表面は環紋をあらわし無毛。下面は迷路状～ひだ状、類白色肉は革質、材木色。エゴノキ上に発生。
	エゴノキタケ	エゴノキタケ	見つけやすさ ★★★★★
8			マンネンタケの仲間でも多年生。傘は半円形、扁平丸山形～馬蹄形、表面はかたい殻皮でおおわれ灰褐色～灰白色、ココア状の粉（胞子）を帯びることが多い。管孔面は新鮮なときは類白色。冬～春はよく目立つ。
	オオミノコフキタケ	オオミノコフキタケ 裏面	見つけやすさ ★★★★★
9			図鑑未記載種
	ヒメシロアマタケ	ヒメシロアマタケ	見つけやすさ ★☆☆☆☆
10			傘は半円形、扁平～くさび形で重生する。表面は茶褐色で無毛平滑～粗面または短剛毛をもつ。肉は明黄褐色でかたくない木質。下面は暗褐色。
	(ネンドタケ)	(ネンドタケ)	見つけやすさ ★★★★★

No.	写真	写真/情報	特徴など
11			幼コマ形で幼菌は白色。表面は上部が円錐状のとげ、側面～下部は粒状～粉状物からなるが、熟すと黄褐色となって剥落し、内皮表面に網目紋を残す。内皮の頂孔から煙のように胞子を出す。梅雨期～秋、有機物にとむ地上に群生す
	ホコリタケ	ホコリタケ	見つけやすさ ★★★★★
12			円盤状～盃状～耳状、背面の一部で器物につく。しばしば群生し、隣同士が癒着することが多い。かたいゼラチン質、背面は灰黄色～灰褐色で直立した毛に密におおわれる。枯れた広葉樹状に発生し、温～熱帯に広く分布する。
	アラゲキクラゲ	アラゲキクラゲ	見つけやすさ ★★★★★
13			黒色できわめてかたく、形は半球形～平らに広がるものなど変化に富む。広葉樹の古い幹に多い。
	クロコブタケ	クロコブタケ	見つけやすさ ★★★★★
14		縮れた白い扇のようなキノコで、毛も生えておりわかりやすい。庭に放置した材などにも発生する、身近なキノコです。	扇形、表面は白～灰色または灰褐色で粗毛におおわれる。ひだは白、灰色、淡褐紫色など。肉は革質で乾くと縮むが、水に戻すともとにもどる。枯れ木、用材などに普通に発生。
	スエヒロタケ		見つけやすさ ★★★★★
15			傘の径は0.5～1.2cm、円錐状鐘形で、表面は淡灰褐色、中心部は暗色。ひだは灰白色、柄は細長く、灰褐色、上部は淡色または白色で根もとに白毛がある。秋～初冬、林内の落葉、落枝に生え、薬品様のおいがある。
	ニオイアシナガタケ ?	ニオイアシナガタケ ? 裏面	見つけやすさ ★★★★★

No.	写真	写真/情報	特徴など
16		 クロシワオキナタケ ? 裏面	表面は粘性が強く、中心部は紫黒色。周辺部は灰紫色。網状の著しいしわがある。柄は白、粉状。広葉樹の腐木に発生し、椎茸の古いほだ木によく見られる。 見つけやすさ ★☆☆☆☆
17		 ミノモミウラモドキ ? 拡大	円錐形～鐘形から平らに開くが、中央部は山形にもり上がる。表面は暗灰褐色で乾くと淡色となる。ひだは灰白色のち肉色。柄は灰褐色で繊維状の縦すじがありしばしばねじれ、内部は中空で根もとは白色菌糸がおおふ。 見つけやすさ ★★☆☆☆
18 / 19		 18 (同定留保) 19 (同定留保)	見つけやすさ ★☆☆☆☆
20 / 21		 20 (同定留保) 21 (同定留保)	見つけやすさ ★☆☆☆☆
22 / 23		 22 観察の一コマ (同定留保) 23 (同定留保)	見つけやすさ ★☆☆☆☆

No.	写真	写真/情報	特徴など
1	 <p>オチバタケの仲間または</p>	 <p>ラッシタケ科の仲間（裏面）</p>	<p>小形の菌で、地上に落ちた枝に生えていました。ヒダの数がとても少ないです。</p> <p>見つけやすさ ★★★★★</p>
2	 <p>ヒメシロアミタケ（裏面）</p>	<p>裏はひだではなく、細かな穴（管孔）がほぼ全面に広がっています。</p>	<p>図鑑未記載種</p> <p>見つけやすさ ★★★★★</p>
3	 <p>オオミノコフキタケ</p>	 <p>オオミノコフキタケ 裏面</p>	<p>マンネンタケの仲間多年生。傘は半円形、扁平丸山形～馬蹄形、表面はかたい殻皮でおおわれ灰褐色～灰白色、ココア状の粉（胞子）を帯びることが多い。管孔面は新鮮なときは類白色。冬～春はよく目立つ。</p> <p>見つけやすさ ★★★★★</p>
4 / 5	 <p>ホウロクタケ</p>	 <p>5 ハルシメジ類の仲間（裏面）</p>	<p>1～多年生。傘は扁平～浅いひづめ形、淡褐色～汚褐色。肉はコルク質。管孔はヒヨロタケよりかなり大きい。ナラやシイ等の材に生える。</p> <p>見つけやすさ ★★★★★</p>
5	 <p>ハルシメジ類の仲間</p>	 <p>ハルシメジ類の仲間（裏面と胞子紋）</p>	<p>暗褐色のカサは絹糸状の光沢があり、繊維紋が確認できる。ヒダは白色のち肉色。胞子紋も肉色。特徴からイッポンシメジ科で、発生時期からハルシメジの仲間と考えてよいだろう。</p> <p>見つけやすさ ★★★★★</p>

No.	写真	写真/情報	特徴など
1			
	(同定留保)	(裏面)	見つけやすさ ★★☆☆☆
2			カサは5～8cm、表面は白色、湿れば粘性があり、生長によりしばしばひょうひがひび割れ、中央部が黄土色を帯びる。周辺に溝線が生じる。ヒダはやや疎で、柄とともに白色。
	ヒビワレシロハツ	ヒビワレシロハツ (裏面)	見つけやすさ ★★★★★
3			
	ベニタケ属	ベニタケ属	見つけやすさ ★★☆☆☆
4			マンネンタケの仲間多年生。傘は半円形、扁平丸山形～馬蹄形、表面はかたい殻皮でおおわれ灰褐色～灰白色、ココア状の粉（胞子）を帯びることが多い。管孔面は新鮮なときは類白色。
	オオミノコフキタケ幼菌	オオミノコフキタケ 裏面	見つけやすさ ★★★★★
5			背着生で大小のこややく状に広がり、革質。肉色～赤紫色、乾くと淡肉色。周辺部は白～淡肉色で、乾くとそり反り、その背面は褐色～黒色。広葉樹枯れ木上。
	コミノカワタケ？		見つけやすさ ★★☆☆☆



No.	写真	写真/情報	特徴など
6	 <p>クヌギタケ属</p>	<p>小形菌だが、材上に多数まとまって生えるので比較的見つけやすい。</p>	見つけやすさ ★★★★★
7	 <p>ケショウハツ ?</p>	<p>右側の2つは左側のキノコの幼菌とされます。色の感じがどことなくモモっぼいのでケショウハツの特徴ととらえました。</p>	見つけやすさ ★★★★★
8	 <p>ミドリスギタケ ?</p>	 <p>ミドリスギタケ ? (裏面)</p>	見つけやすさ ★★★★★
9	 <p>ホコリタケ</p>	 <p>ホコリタケ</p>	<p>幼コマ形で幼菌は白色。上部が円錐状のとげ、側面～下部は粒・粉状物があり熟すと黄褐色となって剥落する。内皮の頂孔から煙のように胞子を出す。梅雨期～秋、有機物にとむ地上に群生する。</p>
			見つけやすさ ★★★★★
10	 <p>(同定留保)</p>	 <p>(同定留保)</p>	見つけやすさ ★☆☆☆☆

No.	写真	写真/情報	特徴など
11			中央が平坦なまんじゅう形から平開し、表面は帯紫褐色の鱗片におおわれる。ひだは初め白色、のちピンクから黒褐色に変わる。柄は大形で膜質のつばをそなえ、つば下はささくれ根もとはふくらむ。
	ザラエノハラタケ (幼菌)	ザラエノハラタケ (幼菌)	見つけやすさ ★★★★★
12			ベニタケ属の赤系のものは種類が多く、肉眼での区別は困難なことが多い。
	(同定留保) ベニタケ属 赤系	(同定留保) ベニタケ属 赤系	見つけやすさ ★★★★★
13			材に生える最も普通のキノコ。傘は半円形、強じんな革質。多数重なり合って群生し、表面は多彩な色をあらわすが、しばしばほほ黒色。肉は白、管孔は微小、広く世界的に分布する。
	カワラタケ	カワラタケ	見つけやすさ ★★★★★
14		ヒラタケは材上生で晩秋のキノコですが、こちらは地上生です。やや古い図鑑に載っていました。	
	ツチヒラタケ		見つけやすさ ★☆☆☆☆
15			傘は大きく質は強じん。白～淡黄色の地に淡黄土～暗褐色の鱗片をつけひび割れる。ひだは白色、縁は鋸歯状。柄は白～淡黄色で褐色ささくれあり。松や二葉松。初夏～秋、針葉樹の切り株などに発生。
	マツオウジ ?	マツオウジ ?	見つけやすさ ★★★★★

No.	写真	写真/情報	特徴など
16	 <p>ヒイロタケ (超幼菌)</p>	<p>林の中でとても目立つ赤系のキノコで倒木によく見られますが、この写真は出始めたばかりの状態です。</p>	<p>枯れ木上。傘は半円形。鮮やかな朱紅色、風雨にさらされると色あせる。傘表面は毛がなく滑らかで同心円の模様 (環紋) は不明瞭。肉はコルク質～革質。管孔は極微細である。</p>
		<p>★★★★☆</p>	<p>見つけやすさ ★★★★★</p>
17	 <p>ネナガノヒトヨタケ ?</p>	<p>ウッドチップが撒かれたあとに草が茂って枯れたような地上に生えています。馬牛の糞やわらなどに発生するそうです。</p>	<p>傘は径2~5cm、初め楕円形が長卵形でのちに水平に開く。初め白色しだいに帯褐色になる。表面は白色繊維状の被膜におおわれるが、後脱落し、灰褐色。ひだは成熟すると黒く液化する。</p>
			<p>見つけやすさ ★★★★★</p>
18	 <p>オニタケ (老菌)</p>	 <p>オニタケ (老菌)</p>	<p>傘は淡褐～褐色、上に暗褐色錐状の小突起をつける。ひだは白色で密。柄は根もとでややふくらむ。つばは白色膜質でこの下は傘同様の小突起をつける。林や庭園の地上に生え落ち葉を分解する。</p>
			<p>見つけやすさ ★★★★★☆</p>
19	 <p>(同定留保)</p>		
			<p>見つけやすさ ★★★★★☆</p>
20	 <p>ノウタケ</p>	 <p>ノウタケ</p>	<p>頭部が卵形で握り拳大。内部の孢子形成の組織体 (グレバという) は初め白色→茶色、熟して褐色となり、黄褐色液汁を出し悪臭を放つ。乾燥後、外皮が破れて剥離し綿くず状となり孢子を飛ばす。</p>
			<p>見つけやすさ ★★★★★</p>

No.	写真	写真/情報	特徴など
21			
	ナヨタケの仲間	ナヨタケの仲間	見つけやすさ ★★★★★
22			
	ラッシタケ科 ?	ラッシタケ科 ?	見つけやすさ ★★★★★
23			1～多年生。傘は扁平～浅いひづめ形、淡褐色～汚褐色。肉はコルク質。管孔はヒイロタケよりかなり大きい。ナラやシイ等の材に生える。
	ホウロクタケ ?	ホウロクタケ ? 裏面	見つけやすさ ★★★★★
24		太い落枝に生えていました。カワラタケなどに近い種類の幼菌の科の可能性がります。	
	(同定留保)		見つけやすさ ★★★★★
		変形菌の一種。ムラサキホコリカビと思われます。	
	番外 (キノコではありませんが)		見つけやすさ ★★★★★

No.	写真	写真/情報	特徴など
1			マンネンタケの仲間でも多年生。傘は半円形、扁平丸山形～馬蹄形、表面はかたい殻皮でおおわれ灰褐色～灰白色、ココア状の粉（胞子）を帯びることが多い。管孔面は新鮮なときは類白色。
	オオミノコフキタケ	オオミノコフキタケ	見つけやすさ ★★★★★
2			背着生で大小のこうやく状に広がり、革質。肉色～赤紫色、乾くと淡肉色。周辺部は白～淡肉色で、乾くとそり反り、その背面は褐色～黒色。広葉樹枯れ木上。
	コミノカワタケ？	コミノカワタケ？	見つけやすさ ★★★☆☆
3			半背着生、大小のこうやく状で、柔軟な膜質～ロウ質。平滑またはわずかにいぼ状、白色、淡黄褐色～褐色。周縁部は白色。しばしば反転して傘を形成する。主に広葉樹枯れ木上。世界中に分布する。
	エビコウヤクタケ？	エビコウヤクタケ？（画面上）	見つけやすさ ★★★★★
4		見つけるのが意外と難しいです。	半球形～不規則なこぶ状で径1～3cm、赤黒色～黒褐色、のち黒い粉におおわれる（胞子の放出のため）。内部はコルク質で材上生。
	チャコブタケ		見つけやすさ ★★★☆☆
5			無柄。傘は半円形、厚さ2cmほどで扁平だが、樹皮面につく基部は厚い。傘表面は初め白色→桃褐～汚褐色に色づく。肉は多湿で柔軟な肉質。特に孔口面（裏面）は接触で強く赤褐変する。
	シミタケ（幼菌）？	シミタケ（幼菌）？	見つけやすさ ★☆☆☆☆

No.	写真	写真/情報	特徴など
6	 クジラタケ幼菌 ?	 クジラタケ幼菌 ? (拡大)	傘は半円形、扁平、幅5~10cm、厚さ0.5~1cm。表面は淡ねずみ色~灰白色でほとんど無毛。環紋は不明瞭、しだいに放射状のしわをあらわす。肉は白くコルク質。広葉樹枯れ木上に生える。 見つけやすさ ★★★☆☆
7	 ネンドタケモドキ ?	枯れ幹に付いていました。	半背着生。傘は半円形~楕形、表面は茶褐色~暗褐色、傘肉は分岐した剛直な束毛からなる。ナラ類の枯枝上に発生。 見つけやすさ ★★★☆☆
8	 カワラタケ	 カワラタケ	材に生える最も普通のキノコ。傘は半円形、強じんな革質。多数重なり合って群生し、表面は多彩な色をあらわすが、しばしばほほ黒色。肉は白、管孔は微小。広く世界的に分布する。 見つけやすさ ★★★★★
9	 ウロコタケの仲間 ?	 ウロコタケの仲間 ? (拡大)	厚みが大変に薄いです。 見つけやすさ ★☆☆☆☆
10	 イグチの仲間	 イグチの仲間 (裏面)	見つけやすさ ★★★★★









No.	写真	写真/情報	特徴など
11			<p>傘はまんじゅう形からほぼ平らに開き、表面硫黄色、中央部やや濃色。ひだはオリーブ色→紫褐色。肉は黄色。柄は傘と同色、下方濃色、クモの巣状の不完全なつばあり。枯幹や切り株などに共生。</p>
	ニガクリタケ	ニガクリタケ	見つけやすさ ★★★★★
12			<p>傘はやや大形、中央のくぼんだまんじゅう形から平らに開き、浅いじょうご形となる。表面平滑で汚白～暗褐色～黒色。ひだは厚く幅広く疎で白色、古くなると黒色。肉は白く切断で赤→黒に変わる。</p>
	クロハツ	クロハツ	見つけやすさ ★★★★★☆
13			<p>カサは5～8cm、表面は白色、湿れば粘性があり、生長によりしばしばひょうひがひび割れ、中央部が黄土色を帯びる。周辺に溝縁が生じる。ヒダはやや疎で、柄とともに白色。</p>
	ヒビワレシロハツ	ヒビワレシロハツ (裏面)	見つけやすさ ★★★★★☆
14		古くて痛んでいました。	見つけやすさ ★★★★★☆
	ベニタケ属		
15			見つけやすさ ★★★★★☆
	ベニタケ属	ベニタケ属	

No.	写真	写真/情報	特徴など
16			傘は大形、まんじゅう形から平らに開く。表面は絹状のつやがあり、白～淡帯黄色。ひだは白色→帯紅色→紫褐色となり密。柄は白色で基部は急にふくらみ、白色の膜質のつばをもつ。林内地上生。
	ウスキモリノカサ	ウスキモリノカサ裏面	見つけやすさ ★★★★★
17			傘は灰褐色～暗褐色。周辺に溝線がある。ひだは白色、縁部は灰色。柄は灰色の繊維状鱗片におおわれ、上部に灰色のつばが、基部には白色袋状のつばがある。
	ドウシタケ	ドウシタケ	見つけやすさ ★★★★★☆
18			傘は径1～3.5cm、鐘形、表面は帯活赤色で放射状の条線がある。柄は傘と同色で、中空、傷つくと暗赤色の液が出る。広葉樹の朽ち木に発生。
	チシオタケ	チシオタケ (裏面)	見つけやすさ ★★★★★☆
19			径は1～(4)cm、表面は吸水性なく、初めとげ状～粒状の鱗片でおおわれる。胞子紋は濃褐色。広葉樹の腐朽木に発生。
	ヒメスギタケ	ヒメスギタケ (裏面)	見つけやすさ ★★★★★☆
20			傘は小形、表面平滑。類白色、粘土色などで湿時粘性があり、若いとき縁部に被膜の名残をつける。ひだは初め白→帯赤褐色となる。柄は白か粘土色で、上部にクモの巣膜の名残をつける。
	アカヒダワカフサタケ ?	アカヒダワカフサタケ ? (裏面)	見つけやすさ ★★★★★☆



No.	写真	写真/情報	特徴など
21	 <p>(同定留保)</p>		見つけやすさ ★★★★★
22	 <p>ニクウスバタケ ?</p>	 <p>ニクウスバタケ ?</p>	<p>半背着生。広葉樹の枯れ木におびただしく群生。傘は薄く革質。全体に黄白色～肉色、表面は無毛、下面は針状になる場合もある。</p> <p>見つけやすさ ★★★★★</p>
23	 <p>(同定留保)</p>		<p>1～多年生。傘は扁平～浅いひづめ形、淡褐色～汚褐色。肉はコルク質。管孔はヒイロタケよりかなり大きい。ナラやシイ等の材に生える。</p> <p>見つけやすさ ★★★★★</p>
24	 <p>(同定留保)</p>	<p>高い位置に生えていたので、上から撮影したり見たりすることができませんでした。</p>	<p>見つけやすさ ★☆☆☆☆</p>
25	 <p>ホウロクタケ ?</p>		<p>1～多年生。傘は扁平～浅いひづめ形、淡褐色～汚褐色。肉はコルク質。管孔はヒイロタケよりかなり大きい。ナラやシイ等の材に生える。</p> <p>見つけやすさ ★★★★★</p>

No.	写真	写真/情報	特徴など
26	 (同定留保)	 (同定留保)	見つけやすさ ★☆☆☆☆
27	 (同定留保)	アセタケの仲間の特徴があります。 (傘の中央部がもり上がる、ひだが 灰褐色系になるなど)	見つけやすさ ★☆☆☆☆
28	 (同定留保)	 (同定留保)	見つけやすさ ★☆☆☆☆
29	 (同定留保)	 (同定留保)	見つけやすさ ★☆☆☆☆
30	 (同定留保)	 (同定留保)	見つけやすさ ★☆☆☆☆

No.	写真	写真/情報	特徴など
31	 <p>(同定留保)</p>		<p>見つけやすさ ★★★★★</p>
32	 <p>(同定留保)</p>	 <p>(同定留保)</p>	<p>見つけやすさ ★★★★★</p>
33	 <p>(同定留保)</p>		<p>見つけやすさ ★★★★★</p>
34	 <p>(同定留保)</p>	 <p>(同定留保)</p>	<p>見つけやすさ ★★★★★</p>
番外 林内の 出会い	 <p>モグラ (遺体でしたが)</p>	 <p>マムシグサ (実)</p>	<p>見つけやすさ ☆☆☆☆☆</p>

No.	写真	写真/情報	特徴など
近隣市にて			きわめて大形のキノコ。畑地、路傍などに発生。和名は仁王占地の意味。アジア・アフリカの熱帯に分布。日本では群馬県以南。
	ニオウシメジ	ニオウシメジ	見つけやすさ ★★★★★
近隣市にて			卵形の幼菌から殻皮が裂け、白色の柄とマントを伸ばす。(マントは網目状レースの「スカート」で、マントがきれいに広がった様は貴婦人のようだそう。これは残念ながら萎びていた。)
	キヌガサタケ	キヌガサタケ	見つけやすさ ★☆☆☆☆
近隣市にて			答えは、9ページの一番下のキノコです。台風通過後に発見しました。おそらく、尋常でない雨水が供給され吸水するしかない状況で肉が膨らみ続け、結果裂けてしまったのでしょうか。
	ポップコーン?	これは何でしょう?	見つけやすさ ☆☆☆☆☆
調査でない日に発見			ヒラタケ：傘は貝殻形～半円形、時にじょうご形。表面は初め黒～灰青色、のちなずみ色、灰褐色、灰白色、ほとんど白色。ひだは柄に長く続き、白～灰色。晩秋～春に広葉樹の枯れ木、切り株などに多数重なり合って発生。
	ヒラタケ	ツチスギタケ ?	見つけやすさ ★★★★★
調査でない日に発見			傘、柄ともに大型になり黄白色～黄金色で同色の粉におおわれる。ひだは黄白色→黄土褐色となり、密集。柄は基部がふくらみ上部に大きい膜質のつばをもつ。一種の強いにおいがある。林地、道端、庭地などに多数群生する。
	コガネタケ	コガネタケ裏面	見つけやすさ ★★★★★

## 索 引

季節	No.	名称	ページ	季節	No.	名称	ページ
2016 冬	1	コミノカワタケ?	1	2017 春	1	オチバタケの仲間	5
2016 冬	2	ヒイロタケ(撮影地:川越)	1	2017 春	2	ヒメシロアマタケ(裏面)	5
2016 冬	3	ホウロクタケ	1	2017 春	3	オオミノコフキタケ	5
2016 冬	4	カワラタケ	1	2017 春	4	ホウロクタケ	5
2016 冬	5	アラゲカワラタケ 拡大	1	2017 春	5	ハルシメジ類の仲間	5
2016 冬	6	チャカイガラタケ	2	2017 夏	1	(同定留保)	6
2016 冬	7	エゴノキタケ	2	2017 夏	2	ヒビワレシロハツ	6
2016 冬	8	オオミノコフキタケ	2	2017 夏	3	ベニタケ属	6
2016 冬	9	ヒメシロアマタケ	2	2017 夏	4	オオミノコフキタケ幼菌	6
2016 冬	10	(ネンドタケ)	2	2017 夏	5	コミノカワタケ?	6
2016 冬	11	ホコリタケ	3	2017 夏	6	クヌギタケ属	7
2016 冬	12	アラゲキクラゲ	3	2017 夏	7	ケシヨウハツ?	7
2016 冬	13	クロコブタケ	3	2017 夏	8	ミドリスギタケ?	7
2016 冬	14	スエヒロタケ	3	2017 夏	9	ホコリタケ	7
2016 冬	15	ニオイアシナガタケ?	3	2017 夏	10	(同定留保)	7
2016 冬	16	クロシワオキナタケ?	4	2017 夏	11	ザラエノハラタケ(幼菌)	8
2016 冬	17	ミノモミウラモドキ?	4	2017 夏	12	(同定留保)ベニタケ属 赤系	8
2016 冬	18	18 (同定留保)	4	2017 夏	13	カワラタケ	8
2016 冬	19	19 (同定留保)	4	2017 夏	14	ツチヒラタケ	8
2016 冬	20	20 (同定留保)	4	2017 夏	15	マツオウジ?	8
2016 冬	21	21 (同定留保)	4	2017 夏	16	ヒイロタケ(超幼菌)	9
2016 冬	22	22 観察の一コマ(同定留保)	4	2017 夏	17	ネナガノヒトヨタケ?	9
2016 冬	23	23 (同定留保)	4	2017 夏	18	オニタケ(老菌)	9

## 索 引

季節	No.	名称	ページ	季節	No.	名称	ページ
2017 夏	19	(同定留保)	9	2017 秋	20	アカヒダワカフサタケ ?	14
2017 夏	20	ノウタケ	9	2017 秋	21	(同定留保)	15
2017 夏	21	ナヨタケの仲間	10	2017 秋	22	ニクウスバタケ ?	15
2017 夏	22	ラッシタケ科 ?	10	2017 秋	23	(同定留保)	15
2017 夏	23	ホウロクタケ ?	10	2017 秋	24	(同定留保)	15
2017 夏	24	(同定留保)	10	2017 秋	25	ホウロクタケ ?	15
2017 夏	25	番外(キノコではありませんが)	10	2017 秋	26	(同定留保)	16
2017 夏	1	オオミノコフキタケ	11	2017 秋	27	(同定留保)	16
2017 秋	2	コミノカワタケ ?	11	2017 秋	28	(同定留保)	16
2017 秋	3	エビコウヤクタケ ?	11	2017 秋	29	(同定留保)	16
2017 秋	4	チャコブタケ	11	2017 秋	30	(同定留保)	16
2017 秋	5	シミタケ(幼菌) ?	11	2017 秋	31	(同定留保)	17
2017 秋	6	クジラタケ幼菌 ?	12	2017 秋	32	(同定留保)	17
2017 秋	7	ネンドタケモドキ ?	12	2017 秋	33	(同定留保)	17
2017 秋	8	カワラタケ	12	2017 秋	34	(同定留保)	17
2017 秋	9	ウロコタケの仲間 ?	12	<b>調査スピンオフ編</b>			
2017 秋	10	イグチの仲間	12	近隣市にて		ニオウシメジ	18
2017 秋	11	ニガクリタケ	13	近隣市にて		キヌガサタケ	18
2017 秋	12	クロハツ	13	近隣市にて		ポップコーン?	18
2017 秋	13	ヒビワレシロハツ	13	近隣市にて		ヒロヒダタケ	18
2017 秋	14	ヘニタケ属	13	近隣市にて		クロハツ	18
2017 秋	15	ヘニタケ属	13	近隣市にて		ヒラタケ	18
2017 秋	16	ウスキモリノカサ	14	調査でない日に発見		ツチスギタケ?	18
2017 秋	17	ドウシンタケ	14			コガネタケ	18
2017 秋	18	チシオタケ	14				
2017 秋	19	ヒメスギタケ	14				

この冊子は、山溪カラー名鑑「日本のきのこ」増補改訂新版をもとに記述・分類しました。地元の里山の生き物に目を向けていただけたら、という一心で作成したものです。したがって不明点や誤りについて気付かれましたら遠慮なくご指摘ください。

# 生態系における菌類やキノコの役割に関する基礎知識

## 1. さまざまな生態系

「生態系」とは、食物連鎖などの生物間の相互関係と、生物とそれをとりまく無機的環境(水、大気、光など)の間の相互関係を総合的にとらえた生物社会のまとまりのことを示す概念です。

生態系には、広大な森林から小さな池まで様々な大きさのものがあり、時として地球全体を一つの生態系と見ることもあります。<sup>i</sup> 生態系を理解するためには、地域における生物間の相互環境と無機質環境の循環システムを知ることが大切です。

植物は光合成により空気中の二酸化炭素から炭水化物をつくり、植物は動物の餌となる。

消費された有機物は菌類やキノコにより、無機物に分解され、CO<sub>2</sub> を発生させることとなります。さらに植物は CO<sub>2</sub> を光合成により、有機物へ転換しています。このように地球環境は、自然生態系の循環システムと共生システムにより維持されています。キノコ(菌類)調査は、有機物を無機質に分解する大切な連鎖の研究の入り口という役割を果たしています。

自然生態系の循環システム  
(キノコの役割)



## 2. 森林生態系における生物界

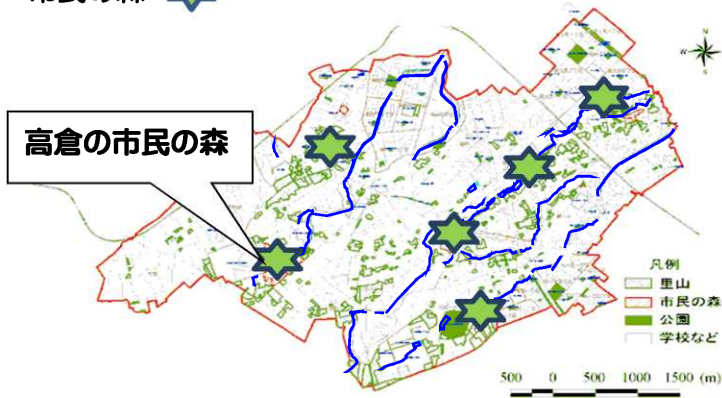
植物・動物・菌類の3つの界を中心として成り立っています。このうち菌類は、主に分解・還元者の役割を担っており、木材腐朽菌・腐生菌・菌根菌の3つに分けられます。最近では優秀な食用菌や抗癌・抗痴呆性の薬理作用を持ったものがたくさん知られてきており、菌類のもつ新たな代謝産物を見つけたり、菌類と樹木の根との共同生活を研究することは、菌類資源の有効利用や森林の物質循環を解明するうえで大切です。

豊かな森林を育てるためには、菌類の働きについてよく調べ「菌を通じて森を観察する」ことが重要です。<sup>ii</sup>

## NPO 法人つるがしま里山サポートの活動経緯

- NPO 法人つるがしま里山サポートクラブは、次の世代である子供たちに里山を残すことを目的とし、2002 年の設立以来、市内の里山の保全活動を続けています。
- 1965 年～75 年代(昭和 40 年～50 年頃)の高度経済成長期、鶴ヶ島の里山は宅地開発の対象となり、1966 年から約 30 年間で 262ha が消失し、現在は 132ha と 1/3 となっていました。こうした激変の中、鶴ヶ島市は、市民緑地制度を活用し、「市民の森」として 8 カ所 14.5ha であったものが、現在は、6 ケ所、13.8ha の緑を確保しています。NPO 法人つるがしま里山サポートクラブは、このうち 3 ケ所の市民の森の維持活動をしています。

### 市民の森 2018 年の里山



- 調査対象の高倉市民の森は、8.4ha の里山・樹林地であり、鶴ヶ島市内で最も大きな自然が残る場所で、自然の生態系をそのまま目にする事ができる貴重な場所となっています。

Ⓛ [http://tenbou.nies.go.jp/learning/note/theme2\\_2.html](http://tenbou.nies.go.jp/learning/note/theme2_2.html)

Ⓜ 九州大学の「学術の森」による森林生態圏科学の展開より

<http://www.forest.kyushu-u.ac.jp/jyoho/exhibition/miyaen/kinoko.html>



## NPO 法人つるがしま里山サポートクラブの活動分野

1. 里山(雑木林)・水の調査・研究・提案  
    (ア) 里山分布図の作成  
    (イ) 大谷川・飯森川の現況調査  
    (ウ) 里山ネットワークの提案
2. 里山を維持・管理し、市民に開放していくこと  
    (ア) 樹林地の下草刈り、枝打ち  
    (イ) ごみ清掃など  
    (ウ) レクリエーション活動
3. 相続などによる里山の消失を防ぐこと  
    (ア) 里山の借地制度(長期的土地利用の担保)  
    (イ) 相続制度の改正要望  
    (ウ) 支援制度の検討(住民の支援費用負担)
4. 里山を復元すること  
    (ア) 農家の協力による借地の確保 市の支援体制  
    (イ) 植林活動
5. 環境保全に関する農村と都市との交流事業  
    (ア) 市民参加の森づくり教室の開催  
    (イ) 市民参加の野菜作り教室の開催  
    (ウ) 農産物の直売
6. 環境学習への支援  
    (ア) 学校の総合学習として協力  
    (イ) パンフレットの作成
7. その他里山の保全活動  
    (ア) 他団体との交流と支援活動



キノコ調査の発見



野草を食べる会

## NPO つるがしま里山サポートクラブの子供たちとの活動



飯盛川の清掃活動



バンブーパン



子供たちの森の体験



子供たちの竹細工



市民の盛りのハンモック

## 著者略歴

### 大河内孝子

- 昭和 60 年4月より県立高校理科教諭として勤務、
- 現在県立鶴ヶ島清風高等学校に勤務、高倉の森で不定期に菌類の調査を行う。

### 調査協力

伊藤和貴

小沼英二

高久洋介

加藤 宏

書 名:鶴ヶ島市高倉の森生き物調査

キノコ編 2016 冬~2017 秋

発行日: 2018年1月

企画・編集:柏木 美之

発行者:NPO 法人つるがしま里山サポートクラブ 小澤邦彦

<http://satoyamasupport.com/>



五味ヶ谷で撮影 オオホウライタケ